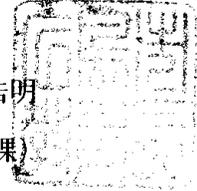


広島市教生第72号

平成16年3月19日

広島市監査委員 様

広島市教育長 黒川 浩明
(教育委員会生涯学習課)



平成13年度包括外部監査結果報告に添えて提出された意見への対応結果に
ついて(報告)

このことについて、別紙のとおり対応いたしましたので、報告します。



(様式)

監査の結果・意見に対する対応結果報告書

対象局・部・課	教育委員会 生涯学習課
結果等報告年月日	平成16年3月 日
[監査の結果又は意見内容]	
<p>現代美術館及び交通科学館の入館者数</p> <p>施設への設備投資額に見合った入館者数の確保は市の責務である。</p> <p>施設の有効利用と施設への入館者数の増加の観点からは、市域全体の文化振興を推進することが必要であり、市民のニーズを分析し必要であれば追加的な設備投資の必要性の有無を検討することが望まれる。また、魅力的な施設づくりのためには、企画展示・普及事業等のソフト面のより一層の充実を図り、文化の主役である市民が施設へ足を運ぶ回数が増加するような方策を検討することが望まれる。</p>	
[対応状況——改善措置及び検討状況]	
<p>交通科学館の入館者増加対策については、アンケート等により、学習需要の高い講座・教室の配置に努めるとともに、魅力ある企画展の開催、ちびっ子教室などにおけるボランティア協働による事業の充実、地域や学校との連携強化、館の広報誌である「トレンドアクセス」、「プライマリークラブ」及びホームページ等による広報活動の充実強化に取り組んでいる。</p> <p>また、平成13年度において「利用者層を把握するための聞き取り調査」を実施し、その成果をもとに、リピーターが多くみられる親子連れ、特に幼児から小学校低学年の子どもを対象とした企画展やこれに関連した館外イベントを実施するなど、入館者増に努めている。</p> <p>こうした取組みなどにより、平成13年度の同館の入館者は166,665人で対前年度比5.9%増、平成14年度は192,089人で対前年度比15.3%増となっており、今後とも、企画展示・普及事業等のソフト面の充実を図り、魅力的な施設づくりに努めていきたい。</p>	
措置・改善等通知予定日	平成 年 月 日